

長月講座

2022年9月

全3回

縄文土器を読み解く

講師：松田真一（天理大学附属天理参考館 特別顧問）

各地の博物館に展示されている縄文土器を見ると、形や文様などが一見して後の時代の土器や焼き物とは異なり、どこか違和感をもつ方もおられるでしょう。

縄文土器には独特な製作方法があり、特異な器の形や見慣れない意匠を配した文様がみられ、一方で時空を超えた複雑な繋がりと変容も認められます。

本講座では3回にわたって土器の見方を解説し、様々な観点から縄文土器を解剖し、その特徴と実態を明らかにします。

第1講 2022年9月2日(金)

縄文土器研究の始まりと土器の起源

明治10年東京帝国大学に招聘されたモースによる大森貝塚の発掘調査以降、縄文土器研究はどう進められてきたのか、また縄文土器の出現の経緯についても探ります。

第2講 2022年9月9日(金)

縄文土器の製作と文様の特徴

縄文土器の製作方法にはどんな特徴があるのか、その独特な形や複雑な文様はどう描かれ、また何を意味しているのかを考えます。

第3講 2022年9月16日(金)

縄文土器の型式と系統

千差万別にみえる縄文土器も、実際には地域と時代によってそれぞれ特徴があります。型式と呼ばれる共通する特徴とは何か、また系統的に変化する土器の移り変わりにも注目します。

申込み方法

- ・受付開始：2022年8月22日(月)午前9時30分～定員になり次第締切。 ・一組3名以内でお申し込み下さい。
- ・以下のいずれかの方法でお申込みください。

メール san-info@sta.tenri-u.ac.jp FAX 0743-63-7721 受付カウンターにて直接申込み

・記載内容：希望する講演会の日付「9月2日・9日・16日」もしくは「9月〇日」(1回のみ参加の場合)「氏名・ふりがな」「住所」「電話番号(FAXでお申込みの方はFAX番号も記入)」※申込者全員の記載をしてください。

・受付時間帯：平日 午前9時30分～午後3時(この時間帯以外の申込みは受け付けません)

天理大学附属天理参考館